防火協会だより

第27号
（令和８年２月発行）
発行：紀勢地区防火協会
編集：紀勢地区広域消防組合
TEL：0598-82-3613
FAX：0598-82-2767

管内において開催された各種イベント等に出展（協賛：紀勢地区広域消防組合）して
各会場で防火広報活動を実施しました！

＜どんとこい大台まつり＞

＜大紀ふれあいまつり＞

＜南伊勢町防災フェスタ＞

林野火災注意報 について（消防署からのお願い）

「林野火災注意報」が発令されたときは、以下に掲げる火の使用制限等に努めていただきますようお願いします。

【火の使用制限等】

- 山林、原野等において火入れをしないこと
- 煙火（花火）を消費しないこと
- 屋外において火遊び又はたき火をしないこと
- 屋外においては、引火性又は爆発性の物品その他の可燃物の附近で喫煙をしないこと
- 山林、原野等の場所で、火災が発生するおそれが大であると認めて組合管理者が区域を指定した場合は、その区域内において喫煙をしないこと
- 残火（たばこの吸殻を含む）、取灰又は火粉等を始末すること

※林野火災の発生を未然に防ぐために
皆さまの御理解と御協力をお願いします！

お問い合わせ　紀勢地区広域消防組合 消防本部 予防課　TEL：0598-82-3613

早期に火災を知らせる

住宅用火災警報器

設置場所
- 各寝室
- ２階に寝室がある場合は階段上部

携帯電話機やスマホにかかわる事故が発生しています！

発熱や発煙、発火のおそれがあります！

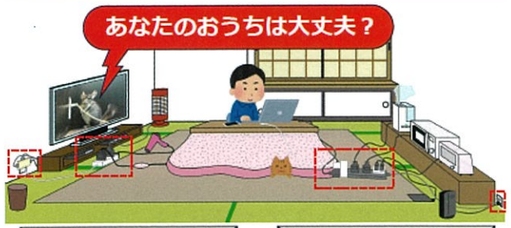
異常発熱

コネクター正常品

焼損したコネクター

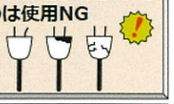
- 汗や飲料水、ペットの尿など液体をコネクターにかけない
- コネクターに金属やごみなどを付着させない
- 一度曲がってしまったコネクターは使用しない
- コネクターは接続の方向を確認してまっすぐに差し込み、斜めに無理に差し込まない
- 接続するとき、無理に力をいれない

コンセント周りのNG５選！



ほこりや水分はNG

変形・変色・破損したものは使用NG



電源コードの踏みつけはNG

消費電力オーバー・たこ足はNG

異常放置はNG
- ☑ 異様に熱い
- ☑ 焦げたようなにおい
- ☑ 電源プラグがグラグラ
- ☑ 接続してる製品の動作が変

気を付けたい事故

① カセットボンベの破裂

暖房器具・調理器具の近くや直射日光の当たる場所など、高温になる場所に置かないでください。破裂・引火するおそれがあります。

② スプレー缶の破裂

暖房器具・調理器具の近くや直射日光の当たる場所など、高温になる場所に置かないでください。破裂・引火するおそれがあります。

③ 電気ストーブ火災

洗濯物やカーテンなど可燃物の近くで使用しないでください。高温部に触れて発火するおそれがあります。

出典元：nite National Institute of Technology and Evaluation 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

リチウムイオン蓄電池からの火災に注意しましょう！

①リチウムイオン蓄電池とは

リチウムイオン蓄電池は、大容量の電力を蓄えることが可能で、繰り返し充電して使用できる電池です。小型で軽量、大容量の電力を蓄えられるため、モバイルバッテリーやスマートフォン、ノートパソコンなど、様々な製品に利用されています。

②リチウムイオン蓄電池の危険性

リチウムイオン電池は、正極と負極の間をリチウムイオンが移動することで繰り返し充電、放電できる電池のことで、二次電池の一つです。この電池は、主に小型で大量の電力を必要とする製品（スマートフォン、コードレス掃除機、ノートパソコンなど）に使用され、他の二次電池（ニッケルカドミウム電池、ニッケル水素電池など）と比べて大容量、高出力、軽量という特徴があります。また、**可燃性の有機溶剤の電解液**を使用しているため、**高温、低温、過充電、過放電の環境、衝撃等**により**発火や爆発する危険性**が潜んでいます。正しい方法で使用、廃棄しないと大きな事故に繋がる可能性があるため、適切な取り扱いが必要です。

～　気を付けるポイント　～

1. 衝撃を与えない
2. 分解・修理・改造をしない
3. 機器に変形等の異常がある場合は使用しない
4. 水のかかる場所では使用しない
5. 一般ごみなどと一緒に捨てない
6. リコール情報を確認する（リコール対象製品は使用しない）

総務省消防庁からの情報提供
＜東京消防庁ホームページ＞令和６年７月１日現在

リチウムイオン電池製品の出火危険

地震による電気火災に備えよう！

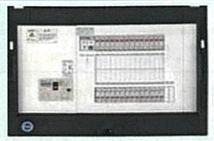
感震ブレーカーの必要性

過去の大震災における火災の原因の過半数が電気に関係するものとされています。

感震ブレーカーを各家庭に設置することで出火を防止し、他の住宅等への延焼を防ぐことで、被害を大きく軽減することができると考えられています。

感震ブレーカーとは？

地震発生時に設定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。地震による電気火災を防止する有効な手段です。

分電盤タイプ（内蔵型）	分電盤タイプ（後付け型）	コンセントタイプ	簡易タイプ
			
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断。	分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。
約５万円～８万円（標準的なもの）	約２万円	約5,000円～2万円	3,000円～4,000円程度
※電気工事が必要です。		※電気工事の必要はありません。	

＜ 2025 年度全国統一防火標語 ＞

急ぐ日も　足止め火を止め　準備よし

春季全国火災予防運動

令和8年3月1日 ～ 3月7日

【住 宅 防 火】

いのちを守る 10 のポイント

4つの習慣

1. **寝たばこ**は絶対にしない、させない
2. **ストーブ**の周りに燃えやすいものを置かない
3. **こんろ**を使うときは火のそばを離れない
4. **コンセント**はほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く

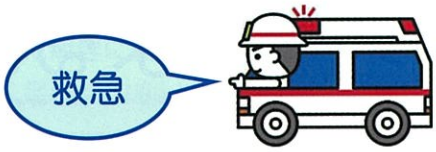
※ 詳しくは →

［政府広報オンライン］
ホームページ QR コード

6つの対策

1. 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は**安全装置**の付いた機器を使用する
2. 火災の早期発見のために**住宅用火災警報器**を定期的に点検し、10 年を目安に交換する
3. 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類およびカーテンは、**防炎品**を使用する
4. 火災を小さいうちに消すために、**消火器等**を設置し、使い方を確認しておく
5. 高齢者や身体の不自由な人は、**避難経路**と**避難方法**を常に確保し、備えておく
6. 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、**地域ぐるみの防火対策**を行う

紀勢地区広域消防組合管内の火災発生件数と救急出動件数　＜年初速報値＞



令和７年の火災発生件数と前年比

種　別	令和7年	令和6年	前年比
建物火災	6	8	-2
林野火災	2	1	1
車両火災	1	1	0
船舶火災	0	0	0
その他火災	9	6	3
合　計	18	16	2

※ 火災のほとんどは、ちょっとした不注意から起きています。
火の取扱いには、十分に注意して火災のない安心・安全なまちづくりに御協力をお願いします。

令和７年の救急出動件数と前年比

種　別	令和7年	令和6年	前年比
急　病	1,189	1,399	-210
転　院	188	218	-30
一般負傷	314	327	-13
火　災	3	2	1
交通事故	68	73	-5
労働災害	26	15	11
そ の 他	18	25	-7
合　計	1,806	2,059	-253

※ このうちドクターヘリの出動となったのは…

急病 9 件　交通事故 4 件　その他 2 件

＜ドクターカーの出動を含む。＞

火災・救急・救助は、局番なしの 119 番